

子どもたちの安全を守る



いよいよ春の入学シーズン。希望に満ちた季節です。でも、慣れない登下校や雪解け後の外遊びで、子どもが危険な目に遭うことも予想されます。子どもが楽しくのびのびと毎日を過ごせるよう、地域のみんなで見守りしましょう。

詳細 西区総務企画課地域安全担当

TEL(041)2400内線220

子どもの被害について

札幌市内での小中学生を狙った犯罪(痴漢、付きまといなど)は、年々減少していますが、平成22年度で、いまだに500件以上が報告されています。事件の発生は、登下校の時間、特に午後3時から5時が多くなっています。また、部活や習い事の帰りである午後6時から7時の発生も増えています。

このような中、左のページで紹介するような、町内会などによる地域の自主防犯活動が活発

なっています。

西区では、「西区子ども見守りネットワーク会議」が設立され、現在143団体が加入。防犯情報や各地区の活動を紹介する通信を発行し、町内会で回覧するほか、小学校を通じて各家庭に配布しています。

また、雪解け後は、交通事故の増加も心配されます。子どもが自転車事故の加害者になってしまう可能性もあります。自転車で乗るときは、暗くなってきたら必ずライトを付ける、スピードを出さないなど、基本的なルールをお子さんと確認しておきましょう。

こわいと思ったらかけこもう！



このステッカーをはっている家やお店には、子どもを守ってくれる大人がいます。どこにあるか、たしかめておこう！

大人ができること

保護者の方は、校区のパトロールに参加する、できるだけ地域を歩くなど、積極的に関わり子どもを見守りましょう。お子さんがいないご家庭でも、登下校の時間帯に合わせて買い物や散歩に出掛けたり、庭仕事や除雪をしませんか。

そのように、さりげなく子どもを見守ることは、危険や犯罪を遠ざけることにつながります。

また、車を運転する方は、学校や公園の近くを通るとき、歩道を子どもが歩いているときは速度を落とし、急な飛び出しなどに十分注意してください。



おかしい人を見かけるなど、なにかあったら、すぐにおうちの人につたえよう！



知らない人に声をかけられたら？こわいと思ったら、大声で「たすけて！」とさけぼう！



おうちに帰る約束は何時かな？ひとりで遊ぶのはやめよう！